

(案)

令和5年8月30日

和泉市長 辻 宏康 様

和泉市立総合医療センター
経営評価委員会 委員長 高杉 豊令和4年度 和泉市立総合医療センターの指定管理者による
管理運営状況の評価について (答申)令和4年8月29日付けで和泉市長から諮問のあった標記について、下記のとおり答
申します。

記

1. 評価の考え方

指定管理者（医療法人徳洲会）から令和4年度の管理運営実績の報告を受け、本
委員会で点検、評価を行った。評価方法は、第3項に掲げる点数方式による評価と
ともに、数値では表示しがたい点については、第4項に本委員会からの意見を付し
た。また、平成29年3月（令和4年3月改訂）に策定された和泉市立病院新改革プ
ラン（以下「新改革プラン」）についても実施状況の評価を行った。

2. 令和4年度管理運営の概況

(1) 救急患者数及び救急搬送

新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、救急患者数、救急搬送件数は前年
度より増加した。

	令和4年度	令和3年度	前年度比較 (増減率)	新改革プラン 令和4年度目標値
救急患者数	13,852 人	12,710 人	1,142 人 (+ 9.0%)	11,000 人

	令和4年度 (搬送率)	令和3年度 (搬送率)	前年度比較 (増減率)	新改革プラン 令和4年度目標値
救急搬送 件数	2,185 人 (22.5%)	1,779 人 (21.4%)	406 人 (+ 22.8%)	2,240 人 (28.0%)

(2) 患者数

入院患者数、外来患者数ともに、新改革プランの目標値を上回る結果となった。

	令和4年度	令和3年度	前年度比較 (増減率)	新改革プラン 令和4年度目標値
1日当たり入院患者数 (退院日の患者を含む)	310 人	309 人	1 人 (+0.3%)	292 人
1日当たり外来患者数	1,058 人	1,030 人	28 人 (+2.7%)	970 人

(3) 収支状況

医業収益は入院・外来診療共に増益であるが、材料費等の費用が増加しており前年度と比べると減益となった。

	令和4年度	令和3年度	前年度比較	新改革プラン 令和4年度目標値
経常損益	2,450,329 千円	2,553,369 千円	▲103,040 千円	
経常収支比率	117.5%	119.4%	▲1.9%	109.0%

3. 評価1（評点結果）

評価対象	NO	評価項目	評価
運営 (基本的事項)	1	施設利用者数の状況について	
	2	収支計画の達成状況について	
医療サービス	3	必要なスタッフ（医師・看護師等）の確保と人材育成について	
	4	救急医療体制の整備について	
	5	地域医療機関との連携強化について	
	6	高度・専門医療について	
施設利用サービス	7	待ち時間について	
	8	職員の接遇について	
危機管理	9	災害時医療の体制整備について	
利用者の評価	10	提案ポストや患者アンケート等の意見の対応について	
合計評価点（ 点 / 100 点）			

評点の考え方	点数
優れている	9～10
出来ている	7～8
概ね出来ている	4～6
やや劣っている	1～3
劣っている	0

4. 評価2（本委員会からの付帯意見）

(1) 運営状況

- ・ 地域医療支援病院の承認を受け、医療機関との連携を図り紹介率、逆紹介率ともに努力の成果も現れ上昇している。今後も継続されたい。
- ・ 診察室不足などの課題解決に向け、指定管理者からの収益の還元による増築棟の建設事業については、建設期間中の利用者等の安全対策に十分配慮されたい。

(2) 医療サービス

①必要なスタッフの確保と人材育成

患者数増に対し、スタッフの充足が徐々に進んでいるが、継続して人材確保に取り組んでいただきたい。

②救急医療

常勤医師を確保され受入れ件数が増加している。病床稼働率も 100%を超える数値であるが、救急患者の受け入れを増やすことも病床運営において考慮されたい。

③危機管理・医療安全

アクシデントの件数については、看護師不足による多忙が原因ではないか。再度、看護師確保も含め管理体制を検討願いたい。

④地域医療機関との連携

地域医療支援病院の承認も受けていることから、引き続き、近隣の医療機関と情報共有や連携を図り体制の強化を図られたい。

⑤医療環境の充実

運営面のさらなる飛躍を期待し、高度ながん治療や専門的医療に必要な医療機器の拡充について検討されたい。

(3) 施設利用者へのサービス

待ち時間に関して、令和 5 年 1 月より通院支援システムアプリ「HOSPA」の導入によるサービス向上は認められるが、前年度よりも待ち時間は増加していることから、引き続き、短縮できる方策を検討されたい。

(4) 利用者の評価

引き続き、患者アンケートを実施し、医療の充実及び医療サービスの向上に繋がられたい。

5. 総括

令和 4 年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、入院・外来患者数も徐々に増加傾向となり、運営状況は堅調である。

救急医療については、救急専門医を配置（令和 4 年 4 月）するなど、公立病院としての使命を果たしていることを高く評価したい。

また、令和 4 年 3 月に地域医療支援病院の承認を受けているなかで、地域の中核病院に求められる機能整備が着実に進められていることが認められる。

これらの結果、令和 4 年度の管理運営状況においては、収支面も含め前年度に引き続き良好であり、要因として、医師の増員や医療機器の更新の他にも、効率的な病床管理を実行するなど、運営面での手腕によるものも大きいと考えられる。

救急搬送受入状況は目標達成には至らなかったものの受入れ件数については増加しており、入院・外来患者数や経営指標なども目標値を上回っていることから、評価できるものである。

引き続き、地域の医療機関との連携を強化し、地域の拠点病院としての役割を果たすとともに、今後も市と協力し、医療水準の向上に取り組み、安全安心で市民に信頼される病院になることを期待する。